

レジメン名

SIRB療法
(IRI+S-1+bevacizumab併用3週毎)

出典 Invest New Drugs, 2012;30(4):1690-6.
BMC Cancer, 2015; 15: 626-633.

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

大腸がん

進行・再発
補助療法(術前・術後)

次コース減量基準

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満	Cr	1.5mg/dL以上
AST/ALT	200IU/L以上		
その他	Grade3以上の下痢 nadir時に上記基準を満たした時、以下のように減量 CPT-11: 150mg/m ² →120mg/m ² →100mg/m ² TS-1: 80mg/m ² →1段階減量→2段階減量		

1コース期間

21日

総コース数

PDまで

(次のコースまでの標準期間)

コース開始基準

WBC	3000/mm ³ 以上	PLT	10万/mm ³ 以上
ANC	1500/mm ³ 以上	Cr	1.2mg/dL以下
AST/ALT	100IU/L以下	T-bil	1.5mg/dL以下
その他	38℃以上の発熱なし。		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ペバシズマブ	7.5mg/kg	NS100mL	初回90分 [※]	d1
イリノテカン	150mg/m ²	5%TZ500mL	90分	d1
ティーエスワン	80mg/m ² [※]	朝、夕食後		d1タ-15朝
※初回90分で忍容性が良好であれば2回目60分、3回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
	※体表面積ごとで初回基準量を定める			
	1.25m ² 未満: 40mg/回			
	1.25m ² 以上~1.5m ² 未満: 50mg/回			
	1.5m ² 以上: 60mg/回			

1日投与順 (経時的にブレイク・ホストブレイク、溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL (ルート確保用) ②ペバシズマブ7.5mg/kg+生食100mL(90分 [※]) (2回目60分、3回目以降30分まで短縮可) ③アロキシ0.75mgバッグ+デキサート6.6mg (15分) ④イリノテカン150mg/m ² +5%糖液500mL (90分) ⑤生食50mL(フラッシュ用) day1タ-15朝 TS-1 80mg/m ² 分2で服用 <内服> day1から4日間 ウルソデオキシコール酸(100)3錠 3×毎食後 炭酸水素ナトリウム 1.8g 3×毎食後 (遅発性下痢の予防目的) day2-3 デカドロン(4mg)1錠 1×朝食後